

## 第1章

### 復旧・復興トピックス

令和2年度における国・県・土木部の主な出来事について時系列で記載しています。

## 国・県・土木部の10年目の歩み

令和2年4月

### 国・県全体のトピックス

1日：震災復興計画「発展期」3年目スタート

1日：2020 宮城米キャンペーンキャラクター  
委嘱状交付

宮城米キャンペーンキャラクターは、全国各地のイベントで宮城のお米のPRを行います。委嘱に当たり、村井知事は「イベントなどを通して宮城米の素晴らしさをPRしてほしい」と期待を込めました。



30日：一般社団法人宮城県建設業協会による  
コロナ寄付の目録贈呈

一般社団法人宮城県建設業協会が遠藤副知事を表敬訪問し、新型コロナウイルス感染症対策のための寄付金とマスクを贈呈しました。



### 土木部のトピックス

1日：辞令伝達式 開催

新任職員及び自治法派遣職員に対して、土木部長による辞令伝達を行いました。



9日：東松島市・上小松バイパス 供用開始

(一)大塩小野停車場線上小松地区は、人家連担地区で道路幅員も狭小、歩道未整備である本路線唯一の未改良区間でした。地域住民の交通安全確保などを目的としバイパス整備を行い、4月9日に供用を開始しました。



24日～27日：土木部長・次長と地方公所長との  
意見交換会 開催

令和2年度の部各課室・地方公所の運営方針やマンパワー不足対策、新たな社会資本整備計画等について意見交換を行いました。

28日：東北地方整備局と6県1市土木部長等との  
意見交換 開催

東北地方整備局企画部長及び東北6県土木部長等が、リモート会議により、令和3年度以降の予算確保や人材確保、新型コロナウイルス対応などについて、意見交換を行いました。



## 国・県全体のトピックス

7日～14日：新型コロナウイルス感染拡大防止  
対策として宮城県全域に緊急事態措置 発表

- ・外出の自粛要請等
- ・職場における感染防止対策等に係る取組の要請
- ・催物（イベント等）開催の自粛要請
- ・施設における感染防止対策徹底の要請

## 11日：蔵王エコーライン 冬期閉鎖解除

3月から除雪を始めていた県道白石上山線蔵王エコーラインの冬期通行止めが解除されました。



## 29日：事前放流の協定 締結

一級河川水系の既存ダムにおける洪水調節機能の強化に向けた事前放流に係る治水協定が河川管理者、ダム管理者、関係利水者との間で締結されました（漆沢、化女沼、上大沢、岩堂沢、ニツ石）。

## 土木部のトピックス

## 18日：Web会議 開催（仙台土木事務所）

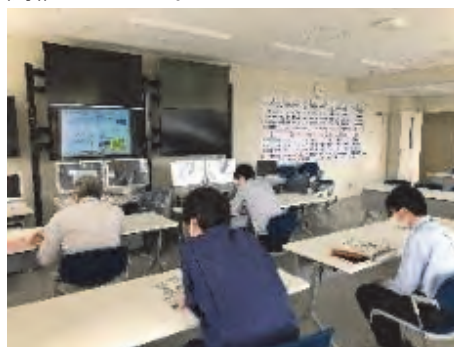
働き方改革の一環として、打ち合わせなどに要する移動時間の短縮を図るため、ICTを活用した手法の導入を模索しています。今回は、初めて既存の端末等を利用し、Web会議にて発注者・施工者・CM業務受託者の3者会議を実施しました。



## 25日～29日：自治法派遣職員研修【自主学习】

開催

自治法派遣職員外（30名）を対象として、本県の被災状況、復興状況等の現状と、本県での実務に関する研修を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、各所属で講義動画を使った研修を開催しました。



## 28日：中島地区海岸で植樹作業 実施（気仙沼市）

中島地区海岸（気仙沼市）において、背後地と一体となった景観の形成を目的として、地域性や環境アドバイザーの意見等を考慮し、クロマツなどの植樹作業を行いました。



## 国・県全体のトピックス

## 5日：JAグループ宮城によるコロナ寄付および子ども食堂への食料品の贈呈

JAグループ宮城が村井知事を表敬訪問し、新型コロナウイルス感染症対策のための寄付金と、県内の子ども食堂へ配付する県産米パックご飯と仙台牛レトルトカレーを贈呈しました。寄付金は「コロナ寄付」として、新型コロナウイルス感染症対策のために幅広く活用されます。



## 10日：トヨタ紡織株式会社によるサージカルマスクおよびフェイスシールドの贈呈

トヨタ紡織東北株式会社が村井知事を表敬訪問し、サージカルマスク1万枚およびフェイスシールド1,000個を贈呈しました。



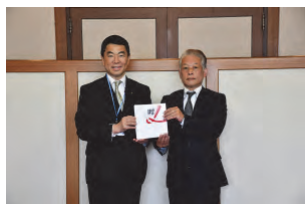
## 12日：株式会社コバヤシによるフェイスシールド寄付の贈呈

株式会社コバヤシが村井知事を表敬訪問し、新型コロナウイルス感染症対策のためのフェイスシールド6,000個を贈呈しました。



## 12日：タツタ電線株式会社による寄付金およびサージカルマスク寄付の贈呈

タツタ電線株式会社が村井知事を表敬訪問し、新型コロナウイルス感染症対策のための寄付金500万円およびサージカルマスク6,000枚を贈呈しました。



## 12日：株式会社仙台ニコンによるフェイスシールド寄付

株式会社仙台ニコンが村井知事を表敬訪問し、新型コロナウイルス感染症対策のためのフェイスシールド3,000個を贈呈しました。



## 土木部のトピックス

## 3日：新任職員研修 開催

令和2年度に採用された新任職員（28名）を対象として、土木部の概要や予算、安全、共通仕様書、建設業法令等の実務的内容の研修を実施しました。



## 12日：令和2年度 6.12 土木部防災訓練 実施

今後起こり得る大規模地震・津波等に対する防災体制の確立と防災意識の高揚を図るため、「みやぎ県民防災の日」に合わせて土木部防災訓練を実施しました。同時に、土木部BCPの確認と気仙沼市、七ヶ浜町、塩竈市にて、水門・陸閘の自動閉扉の遠隔操作も行いました。



## 12日 陸閘自動閉鎖システム 運用開始

津波・高潮被害防止のため整備を進めていた、水門・陸閘の自動閉鎖システムが完成し、運用を開始しました。津波注意報・高潮警報等が発表されてから5分後に、朝日3号及び4号陸閘が自動で閉鎖します。



## 30日：(一)泊崎半島線 泊崎復興道路事業 完了 (南三陸町)

東日本大震災により被災した(一)泊崎半島線の復興道路事業が完了し、供用を開始しました。これにより、歌津地区の復旧・復興道路事業が全て完了しました。



## 国・県全体のトピックス

## 1日：復興庁へ国の施策・予算に関する

## 提案・要望活動

村井知事が復興庁を訪問し、東日本大震災からの復興や、県政施策の推進に必要な予算措置等を求める要望書を田中復興大臣へ提出しました。

主な要望内容として、東日本大震災復興関連予算の確実な措置ほか、新型コロナウイルス感染症を要因とする復興事業の遅れに対する柔軟な対応などを求めました。



## 9日：農姫によるパックごはんの寄贈

農姫（センダイガールズプロレスリング選手の皆さん、歌手のティーナ・カーリーナさん）たちが村井知事を表敬訪問し、農姫米パックごはん約2,500食を贈呈しました。



## 22日：関西宮城県人会会長から

## ふるさと納税（寄付）の贈呈

仙台市出身・大阪府在住で、関西宮城県人会の会長を長年務める佐藤勝氏が、県庁を訪れ、村井知事にふるさと納税（寄付）を贈呈しました。佐藤会長からは、ふるさと納税制度が創設された平成20年度以降、13年連続で多額の寄付を頂いています。



## 土木部のトピックス

## 3日：「東日本大震災からの復興

## 災害公営住宅整備の記録」発行

「災害公営住宅整備の記録」は、平成27年度に中間報告としてとりまとめていましたが、全戸完成したことにより、東日本大震災からこれまでの国・県・市町その他関係機関における取組に加え、課題への対応についての検証や、今後に向けた提言を加筆し、改めて発行しました。



## 16日：宮城県建設工事表彰式・

## 事故防止対策推進大会 開催

宮城県発注の建設工事の優良施工者及び安全管理に対する取組が優良だった現場代理人を対象に表彰を行いました。



## 22日：(国)398号 長清水道路・橋梁災害復旧事業完了（南三陸町）

東日本大震災により被災した、(国)398号の長清水地区の道路・橋梁災害復旧事業の全ての工事が完了しました。



## 国・県全体のトピックス

4日：都市計画道路矢本門脇線（大曲工区）開通式  
開催（東松島市）

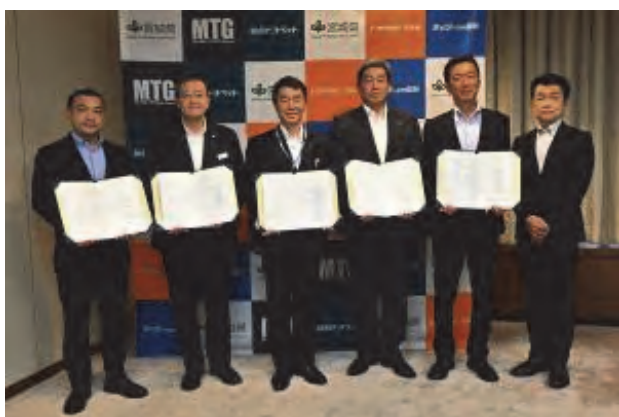
都市計画道路矢本門脇線（県道名：（一）石巻工業港矢本線）の市道堺堀下七丁22号線から市道上納58号線交差点までのL=0.7km区間について開通式を行いました。



## 7日：宮城トヨタ販売店との

「災害時における外部供給可能な車両からの  
電力供給に関する協定」締結

県内において災害が発生した場合に円滑な災害応急対策を実施するため、外部給電可能な車両からの電力供給の協力について、県は、宮城トヨタ販売店5社（宮城トヨタ自動車株式会社、仙台トヨペット株式会社、トヨタカローラ宮城株式会社、ネットヨタ仙台株式会社、ネットヨタ宮城株式会社）との協定を締結しました。



## 土木部のトピックス

## 17日：石巻港探検ツアー 開催（石巻港湾事務所）

石巻港整備・利用促進期成同盟会主催「石巻港探検ツアー」が開催されました。石巻市内及び東松島市内の小学5・6年生とその保護者が参加し、石巻港の歴史や港の役割を学んだほか、国土交通省の業務艇「ひより」に乗船し、海から港内を見学しました。



## 20日～：gacco研修「防災学」 受講

（仙台土木事務所）

東日本大震災の教訓を踏まえ、実践的な防災学の礎を築くため、東北大学災害科学国際研究所が制作したウェブサービス型の講座を計4回にわたり受講し、防災の視点や伝承の取組について学びました。



## 25日 石巻市・金比羅橋連結式 開催

相川復興道路事業は、防災道路ネットワークの構築、地域間のアクセス向上などを目的とした延長約1.9kmのバイパス整備路線です。このうち延長251mの金比羅橋の整備が進み、8月25日に橋梁の連結式を開催しました。



## 国・県全体のトピックス

## 7日：GMO インターネット株式会社

## 仙台オフィス立地に係る覚書締結式

インターネット関連事業を展開するGMOインターネット株式会社が、東日本エリア初の地方拠点となる仙台オフィスを開設するに当たり、誘致した県、仙台市との3者で覚書を締結しました。これにより、県と仙台市が同社の拠点開設を支援するとともに、同社が県内情報通信関連産業の発展に寄与することとしました。



## 7日：「宮城みどりの基金」への寄付に伴う株式会社村井産業への感謝状の贈呈

平成28年度から5年続けて「宮城みどりの基金」へ多大な寄付を頂いた株式会社村井産業（白石市）に対し、村井知事から感謝状を贈呈しました。この「宮城みどりの基金」を活用し、学校や公園等に、これまで約19万8千本の苗木が植樹されています。



## 10日：東日本旅客鉄道株式会社からの「企業版ふるさと納税」に係る感謝状贈呈

本県における「企業版ふるさと納税」の第一号として、1,500万円の寄付を頂いた東日本旅客鉄道株式会社に対し、村井知事から感謝状を贈呈しました。県は、この寄付を「みやぎマリアージュ推進プロジェクト」に活用し、ワインを通じて県内の農山漁村地域の取組を広くPRしました。



## 17日：上工下水道施設における災害時等の相互支援協力協定 締結

県は上水道・工業水道施設の運転管理業務受注者、流域下水道施設の指定管理者との間で、相互支援協力に関する協定を締結しました。自然災害や新型コロナウイルス感染症などの疫病により、各業務の履行が困難になった場合、相互協力し、浄水場・処理場の機能を継続していくこととしています。



## 土木部のトピックス

## 4日：建設業法令等遵守講習会 開催

建設工事に係る県内の市町村、県各機関（95名）を対象に、請負契約の適正化に関する知識等についての講習会を開催しました。



## 23日：東日本台風災害破堤3河川本復旧工事 完了

令和元年東日本台風で破堤した高倉川（角田市）、半田川（角田市）、斎川（白石市）の3河川について、23日までに本復旧工事が完了しました。



## 29日 金華山港災害復旧工事 完了（石巻市）

令和元年東日本台風により被災し復旧工事を進めていた金華山港防波堤外災害復旧工事が完了しました。

この工事の完成により、管内の令和元年災（女川港、金華山港）は全て完了となりました。



## 国・県全体のトピックス

3日：新世紀公園三本木パークゴルフ場 完成  
大崎市三本木地域にある新世紀公園内に、新たなパークゴルフ場が完成しました。



25日：ピーチ・アビエーション  
「仙台ー沖縄（那覇）線」 就航  
ピーチ・アビエーションによる「仙台ー沖縄（那覇）線」が1日1往復で運航を開始しました。



30日：住友大阪セメント株式会社，八戸セメント株式会社との包括連携協定 締結  
県は、住友大阪セメント株式会社，八戸セメント株式会社との包括連携協定を締結しました。災害廃棄物の処理や廃棄物のセメント資源化等を中心とした連携を推進することにより、持続可能な地域社会の実現を目指すこととしています。



## 土木部のトピックス

3日：（一）高城停車場線（松島橋）開通式 開催（松島町）

二級河川高城川に架かる松島橋は、平成24年から災害復旧工事を進めてきました。

高城川左右岸が結ばれることで、松島町の復興はもとより、観光振興など地域の発展に寄与することが期待されます。



5日：（一）大島浪板線 本土側本線 供用開始（気仙沼市）

国道45号から浪板地区までの約L=1.0kmの本線部工事が完了し、供用を開始しました。これにより、本土側の全区間で供用となり、大島側との通行の利便性が一層高まりました。



5日：令和2年第1次災害査定 実施（大河原土木事務所）

7月28日～29日の豪雨により被災した土木施設について災害査定を受検しました。若手技術職員の貴重な経験を積むことができました。





## 国・県全体のトピックス

## 6日：一力基聖への特別表彰 授与

囲碁の第45期基聖戦に勝利し、本県出身者として初めて、囲碁の7大タイトルの一つである基聖のタイトルを獲得された一力遼基聖に対し、村井知事から特別表彰を授与しました。



## 6日：「森林づくり・木づかい」表彰式

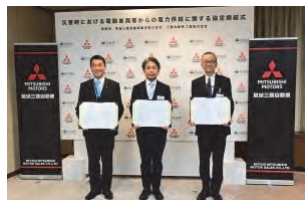
森林づくりや木材産業の振興に功績があった団体に対して、村井知事から感謝状が授与されました。先人たちが守り育ててきた豊かな森林を、健全な状態で次代へと引き継ぎ、持続可能な循環型社会の礎を築くため、森林整備活動や林業就業者の育成を継続的に行っている団体及び県産木材を積極的に活用している団体が選ばれました。令和2年度の受賞団体は、特定非営利活動法人リアスの森応援隊



(気仙沼市)、公益財団法人ニッセイ緑の財団(東京都)、仙台ターミナル株式会社(仙台市)、石巻地区森林組合(石巻市)、シネジック株式会社(富谷市)の5団体です。

## 9日：災害時における電動車両等からの電力供給に関する協定 締結

県は、宮城三菱自動車販売株式会社、三菱自動車工業株式会社と災害時における電動車両等からの電力供給に関する協定を締結しました。県内で災害が発生した場合に、相互に連携し、円滑な災害応急対策を実施するため、宮城三菱自動車販売会社が所有する電動車両等からの電力供給の協力を受けることとしています。



## 土木部のトピックス

## 9日～10日：第2次災害査定 実施(丸森町)

9月10日～14日にかけての豪雨による公共土木施設の被害箇所について、災害査定第2次査定を受検しました。県市町村合わせて7件、53,656千円の査定決定となりました。



## 27日：三地方ダム事務所合同洪水演習 実施

新型コロナウイルスの感染などによりダム職員が不在となる不測の事態に陥った場合でも、ダム機能を維持する必要があることから、仙台地方ダム及び栗原地方ダムの職員を対象に、漆沢ダムの洪水演習などの研修を行い、バックアップ体制の構築を図りました。



## 30日：女川港(横浦地区ほか)水門・陸閘遠隔化運用開始

女川港横浦地区及び高白地区で、水門・陸閘自動閉鎖システムの運用を開始しました。

- ◆横浦：陸閘2基、水門2基
- ◆高白：陸閘1基、水門1基



## 国・県全体のトピックス

14日：ラプラスのオリジナルデザインマンホール  
「ポケふた」お披露目会 開催

みやぎ応援ポケモン「ラプラス」のオリジナルデザインマンホール「ポケふた」が、内陸部の20市町村に追加されたことで、県内全ての市町村に設置されることとなります。

16日：「東北復興宇宙ミッション」で  
「パプリカ」の種が宇宙へ！

東日本大震災からの復興支援に取り組む一般財団法人ワンアースが、「東北復興宇宙ミッション2021」を実施するに当たり、同財団の長谷川洋一代表理事が県庁を訪れ、村井知事に取組を紹介しました。「東北復興宇宙ミッション2021」は、東日本大震災から10年となる令和3年3月11日に、国際宇宙ステーション内に復交10年をイメージした横断幕を展示するとともに、野口聡一宇宙飛行士に、各地から寄せられた「感謝の言葉」を代読してもらうもので、この模様は世界に公開されます。また、各自治体からの記念品を宇宙飛行させる取組もあり、県では、本県が日本一の産地である「パプリカ」の種を令和3年5月に打ち上げます。

23日：日本財団と「働く障がい者支援のための  
連携協定」締結

県と公益財団法人日本財団は、「働く障がい者のための連携協定」を締結しました。県内の障がいのある方が適性や能力に応じて就労し地域で自立した生活を送り、活躍できる社会を目指して、就業機会の拡大と工賃向上に係る取組を支援することとしています。



## 土木部のトピックス

## 5日：工業高校を対象とした現場見学会 開催

建設産業の働く現場を見学してもらうことで、魅力ある建設産業をアピールし、現役工業高校生の就労促進に繋げることを目的とし、3現場で現場見学会を開催しました。

21日：高砂コンテナターミナル新多目的置場等  
供用開始（仙台市）

高砂コンテナターミナル拡張整備の一環として新たに整備した多目的置場等の供用を開始しました。本施設は、コンテナへの貨物の積み込み作業等を行うCFSや、税関検査場として利用されます。

25日：（一）大衡仙台線 宮床工区開通式 開催  
（大和町）

（一）大衡仙台線大和町宮床工区約2.3km区間については、平成24年度から事業を進めてきました。

開通により、県北圏域と仙台市を結ぶ南北軸が強化され、地域間の交流促進、経済活動の活性化が期待されます。



国・県全体のトピックス

13日：「ストップ!コロナ差別」共同宣言

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が予断を許さない状況にある中で、感染者やその家族、医療従事者などへの差別や偏見が依然としてなくなるため、行政、医療、福祉、経済、学校関係など28団体の賛同のもと、「ストップ!コロナ差別」共同宣言を行いました。



18日：「令和2年度みやぎ食育表彰」および「第5回宮城県健康づくり最良団体表彰」の表彰式 開催

県は、食育活動・健康づくり活動の推進を目的として、「令和2年度みやぎ食育表彰」および「第5回宮城県健康づくり優良団体表彰」の表彰式を開催しました。みやぎ食育表彰は、保育所、学校、地域などで食育活動に取り組み、県民の健康増進、みやぎの食文化の伝承などの分野で功績を挙げた方々を表彰するもの、また、健康づくり優良団体表彰は、職場や地域で積極的に活動を行っている方々を表彰しました。



27日：株式会社七十七銀行との包括連携協定締結

県と七十七銀行は、地域の諸課題に適切に対応し、地方創生の推進、県民サービスの向上を図ることを目的とする包括連携協定を締結しました。協定の締結により、産学官金の連携促進、ものづくり産業等の振興、農林水産物の販路拡大、デジタル化の推進、地域医療の確保等に取り組むこととしています。



土木部のトピックス

22日：「宮城県土木・建築行政推進計画（2021～2030）」策定・公表

「宮城県土木・建築行政推進計画（2021～2030）」は、「新・宮城の将来ビジョン」における土木・建築分野の計画として策定したもので、土木部が今後10年間（令和3年度から令和12年度）に取り組んでいく社会資本整備の基本理念や行動計画などを明らかにする運営方針であり、これまでの「宮城県社会資本再生・復興計画」に代わる計画となります。



28日：石巻市・西中瀬橋 供用開始

東日本大震災により甚大な被害を受けた(国)398号「西内海橋」及び「東内海橋」は、現在より上流側（約100m）の位置に「内海橋」として再整備を行い、令和2年9月11日に供用を開始しました。中瀬へ渡る「西内海橋」は「西中瀬橋」に名称を替えて再整備を行い、令和3年1月28日に供用を開始しました。また、「東中瀬橋」は石巻市が整備中です。



29日：復旧・復興道路(南三陸町内) 全事業完了

(国)398号戸倉道路復興道路事業の完了により、南三陸町内の復旧・復興道路事業が全て完了しました。安全で円滑な交通環境確保と、観光振興などの地域の発展に大きく寄与することが期待されます。



## 国・県全体のトピックス

1～5日：第40回全国豊かな海づくり大会  
～食材王国みやぎ大会～の開催記念イベント  
全国豊かな海づくり大会の開催記念イベントとして、県庁1階県民ロビーで県内特産品販売会が行われました。2階講堂では、ステージイベントが行われ、折り紙で作った魚の大型モザイクアートの披露や、気仙沼市出身のシンダーソングライター熊谷育美さんによる大会イメージソング「海よ」が初披露されました。



10日：仙台空港の運用時間24時間化に関する覚書の締結について

県は、名取市、岩沼市と仙台空港の運用時間24時間化とそれに伴う必要な対策について、覚書を締結しました。主な内容として、仙台空港の運用時間を最大24時間まで延長できること、航空機騒音の影響を軽減するための具体的な対策内容、両市及び仙台空港周辺地域の振興等に関する支援内容等が記載されています。



19日：災害時における上下水道施設の技術支援協定の締結について

県と県企業局、公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会東北支部は、事前災害および大規模事故発生時における技術支援協力に関する協定を締結しました。この協定により、県内市町村、企業団および県企業局が所管する上下水道施設が被災した場合、または、被災することが明らかに見込まれる場合において、被災状況の調査、応急復旧対策に関する調査、測量、設計の実施、災害査定資料の作成等の技術支援を迅速に受け、施設の早期復旧を行うことが出来るようになりました。



26日：みやぎ絆大使サンドウィッチマンからの「東北魂義援金」贈呈

みやぎ絆大使のサンドウィッチマン伊達みきおさん、富澤たけしさんが村井知事を表敬訪問し、「東北魂義援金」を贈呈しました。お二人が東日本大震災の被災者支援のため全国から募った「東北魂義援金」1,400万円余りが、「東日本大震災みやぎこども育英募金」に寄付されました。



## 土木部のトピックス

9日：「大規模災害時における建設資材調達に係る情報提供等に関する協定」締結

県土木部と公益社団法人全国土木コンクリートブロック協会東北地区協議会は、大規模災害時における応急復旧工事等の実施に当たり、被害拡大の防止や応急復旧工事に迅速に着手するための建設資材調達に係る情報提供等について協定を締結しました。



10日：「仙台空港の運用時間24時間化に関する覚書」締結

県と名取市・岩沼市との間で、仙台空港の運用時間を24時間まで延長できる旨の覚書を締結しました。



13日：福島県沖を震源とする地震発生（震度6強）

令和3年2月13日（土）23時08分頃に福島県沖の深さ55kmでマグニチュード7.3の地震が発生し、本県では最大震度6強（蔵王町）を観測しました。津波注意報は発表されませんでした。

28日：長清水川 河川災害復旧事業完了（南三陸町）

長清水川の河川災害復旧事業が完了しました。これにより、長清水地区の全ての復旧・復興事業が完了しました。



## 国・県全体のトピックス

11日：みやぎ鎮魂の日（東日本大震災から10年）

## 15日：「第31回技能グランプリ」

## 宮城県選手入賞者が表敬訪問

2月19日から愛知県で開催された「第31回技能グランプリ」に宮城県代表として参加し、受賞した選手らが遠藤副知事に大会結果を報告しました。技能グランプリは、各都道府県から選抜された特に優れた技能を有する一級技能士等が技能日本一を競う大会で、今大会では3名が銀賞、1名が敢闘賞を受賞しました。



18日：宮城県生コンクリート工業組合および  
宮城県生コンクリート協同組合連合会  
からの寄付目録贈呈

宮城県生コンクリート工業組合および宮城県生コンクリート協同組合連合会が村井知事を表敬訪問し、子育て支援のための寄付金目録を贈呈しました。



22日：「農林水産省お魚大使」東京海洋大学  
名誉博士・客員准教授さかなクンからの  
応援メッセージ

東日本大震災から10年の節目に、「農林水産省お魚大使」東京海洋大学名誉博士・客員准教授さかなクンから、県民の皆様に向けたメッセージ入りのぬいぐるみとうちわが寄贈されました。ぬいぐるみとうちわには、「3月11日を忘れない。これからもギョー一緒に!!」という手書きの力強いメッセージが込められています。



## 土木部のトピックス

17日：七北田川河川災害復旧工事 完了（仙台市）

七北田川河川災害復旧工事L=379mが完成しました。この工事の完成により、平成23年度から進めてきたL=4,901mの七北田川河川災害復旧事業が完了しました。



19日：中島地区海岸 災害復旧・復興事業 完了  
（気仙沼市）

中島地区海岸は、平成30年度にL1津波対応の防潮堤が完成し、今年度は離岸堤と周辺整備が完了し、復旧・復興事業が全て完了しました。



20日：宮城県沖を震源とする地震発生（震度5強）  
津波注意報発表

令和3年3月20日（土）18時09分頃に宮城県沖の深さ59kmでマグニチュード6.9の地震が発生し、本県では最大震度5強（仙台市、石巻市、岩沼市、登米市、東松島市、大崎市、蔵王町、松島町、涌谷町、美里町）を観測しました。また、18時11分に本県に津波注意報が発表されましたが、19時30分に解除されました。

28日：石巻市・石巻南浜津波復興祈念公園 開園

「石巻南浜津波復興祈念公園」が3月28日に開園しました。県と市が整備した公園の中心に、国が国営追悼・祈念施設を設置したもので、東日本大震災により亡くなられた方々の追悼、震災の記憶と教訓の伝承、国内外に向けた復興に対する強い想いの発信を目的に整備されたものです。



3.11   
伝承・減災プロジェクト